

《担当者名》八木こずえ [ co-yagi0913@hoku-iryo-u.ac.jp ]

## 【概要】

精神看護の役割の拡大や援助の向上に結びつく適切な研究課題を精神医療や看護の現状から設定できる。文献検討によって研究のオリジナリティーを位置づけると共に、適切な研究方法によって知見を抽出し、論旨の一貫した研究論文として作成できる。

範囲：精神障害やメンタルヘルスに関連する領域

## 【学修目標】

1. 研究課題を先行文献の中で整理・位置づけ、研究目的や意義を整理して研究計画書として提示できる。
2. 計画に沿って、適切な方法論の選択とデータ収集のための準備ができる。
3. 倫理的配慮に基づいてデータ収集し、研究目的に沿った適切な分析・考察を加え、看護研究としての示唆や知見を示す事ができる。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	研究テーマの模索と文献検索	1) 文献を広く読みながら精神看護学における研究テーマを概観する 2) 関心のあるテーマの文献検索を進めていく	八木
	研究計画書の作成とデータ収集	1) 研究課題を明確化し、研究計画書の作成を進めていく 2) 研究課題に適した研究方法についての学習を進める 3) ゼミにて教員や院生同士の意見交換の中で、焦点を絞り込み構想を固めていく 4) 研究テーマや方法に適した研究対象者の選定やデータ収集に向けて、具体性を盛り込みながら体験的に学ぶ 5) 研究における倫理的配慮について必要な考えや手続きを実行し学ぶ。 6) 倫理的配慮のもとで適切なデータ収集を行う	
	データ分析と考察、論文作成	1) 適宜、教員の指導を受けながら、得られたデータを研究方法に従って、適切に分析し考察を深めていく 2) 論文作成のルールを遵守して、論文を仕上げる 3) 研究成果が正しく伝わるよう工夫して、論文要旨や資料作成、プレゼンテーションを行う	

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

研究の準備状況、取り組み姿勢、研究方法方法の選択や実施の適切性が40%、主査、副査からの論文に関する評価が60%。

## 【学修の準備】

研究論文のクリティークの仕方を修得し、活用を考慮しているデータ収集の方法、データの信頼性の見方や読み方、分析方法の妥当性まで説明出来るように準備する。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。